

みずほCustomer Desk Report 2017/09/13 号(As of 2017/09/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.52 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.41	1.1958	130.84	0.9562	1.3172	0.8024
SYD-NY High	110.25	1.1978	131.90	0.9618	1.3300	0.8049
SYD-NY Low	109.24	1.1927	130.69	0.9547	1.3160	0.7998
NY 5:00 PM	110.18	1.1967	131.83	0.9601	1.3279	0.8020
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.87/9.37		△25RR	0.960	Yen Call Over	
NY DOW	22,118.86	61.49	債券市場	日本2年債	-0.1290	1.6bp
NASDAQ	6,454.28	22.02		日本10年債	0.0200	1.0bp
S&P	2,496.48	8.37		米国2年債	1.3348	1.6bp
日経平均	19,776.62	230.85		米国5年債	1.7454	3.6bp
TOPIX	1,627.45	15.19		米国10年債	2.1672	3.7bp
シカゴ日経先物	19,765.00	170.00		独10年債	0.4010	6.5bp
ロンドンFT	7,400.69	▲12.90		英10年債	1.1350	9.0bp
DAX	12,524.77	49.53		豪10年債	2.6400	3.6bp
ハンセン指数	27,972.24	17.11	為替市況	USD/CNH	6.5360	▲0.0028
上海総合	3,379.49	3.07		ドルインデックス	91.88	0.01
USDJPY 3M Vol	9.13	▲0.07%	商品市況	CRB指数	181.411	▲0.25
USDJPY 6M Vol	9.39	▲0.11%		NY金	1,332.70	▲3.00
EURJPY 3M Vol	9.09	▲0.07%		WTI	48.23	0.16
EURJPY 6M Vol	9.62	▲0.15%		Dubai Spot	52.12	▲0.13

東京	朝方に国連安全保障理事会が北朝鮮に対して制裁決議案を全会一致で採択したと伝わったが、原案と比較すると制裁内容が緩やかなものとなったこともあり、直後の相場の反応は限定的。東京時間のドル円は109.41レベルでオープン。リスク回避の巻き戻しの動きが継続し、日経平均株価が前日比200円超上昇する堅調推移となったこと等を背景にドル円は一時109.58まで上昇。しかし、新規材料のない中で次第に様子見ムードが強まりその後は109円台前半での動意に乏しい推移となった。109.35レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.35レベルでオープン。国連安全保障理事会が石油の供給制限に初めて踏み込んだ対北朝鮮の制裁決議を全会一致で決定したと等からリスク回避姿勢が和らぎ、欧州勢参入後にドル円のショートカバーが再燃。米債利回りが上昇する中、109.89まで堅調に推移し、109.86レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3192レベルでオープン。19年春の英EU離脱を円滑に進めるため不可欠とされる「廃止法案(EU離脱に伴い国内で適用されているEU法を国内法に置き換える法案)」を英下院が326対290の賛成多数で可決。保守党内のEU残留派から造反が出なかったことが好感されてか、ポンドは堅調に推移。さらに英8月消費者物価指数が前年同月比2.9%の上昇を示し、予想(2.8%上昇)を上回ったことで、一段と買われ1.3288まで上伸。1.3271レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は109.86レベルでオープン。朝方はムニューシン米財務長官の「税制変更を2017年1月1日にさかのぼり適用できるよう検討している」との発言を受けて、トランプ政権による税制改革実現に向けた取り組みに期待感が広がったことや、米金利や米株が共に上昇したこと等からドルショートカバーが強まり、ドル円は110円台に上昇。その後も堅調な推移が続き、高値110.25まで上昇した後、110.18レベルでクローズした。日中はトランプ大統領の「北朝鮮とビジネスをするすべての国との貿易停止を検討している」との発言が伝わったが、市場の反応は限定的となった。尚、米株はこの日も続伸し、ダウ工業株、S&P500種共に過去最高値を更新した。ユーロドルは1.1932レベルでNYオープン。1.19円台前半ではユーロ買い意欲も強く、1.1973まで反発。しかし米金利上昇を受けてドル買いも強まる中、積極的に上値を追う展開とはならず、その後は1.1960付近での推移が続き、1.1967レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月12日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.6%/2.9%	0.5%/2.8%

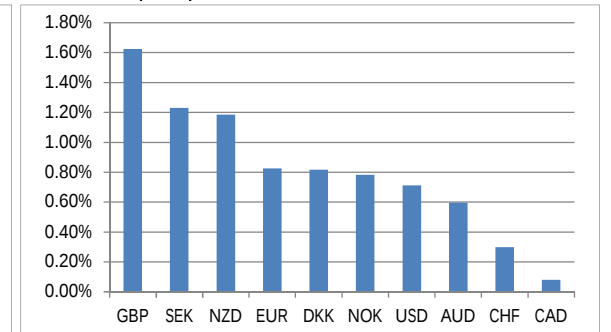
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月13日	8:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	8月 0.1%/3.0%	0.3%/2.6%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.1%/1.8%	0.1%/1.8%
	15:00	独 EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.2%/1.8%	0.2%/1.8%
	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	7月 4.4%	4.4%
	17:30	英 週平均賃金3ヶ月(前年比)	7月 2.3%/2.2%	2.1%/2.1%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 0.1%/3.3%	-0.6%/2.6%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	3.3%
	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	8月 0.3%/2.5%	-0.1%/1.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1900 - 1.2000	131.50-132.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、地政学的リスク後退で、OPECが3ヶ月超の減産合意を協議という話やムニューシン米財務長官がトランプ米大統領、コーン氏と税制改革について議論し、2017年1月1日に翻って税制改革を行う可能性もとの発言に米政策期待が高まり、米株・金利が堅調に推移、ドル円は110円前半まで上昇の動きとなった。本日は、北朝鮮に動きが無ければリスクオンムードが続き、ドル円が下がりづらい展開も考えられるが、明日以降に米経済指標の発表が控えていることで、ハリケーンの影響を鑑み、110円台では利益確定の売りが出る可能性も高く、上値は限定的と考える。